

消防団だより

"自分たちの街は自分たちで守る"

第3号

発行

富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地

電話 (0545) 51-0123

内線 (3333)

FAX (0545) 53-4633

新春を迎え



消防団長 鈴木 経雄

平成五年の輝やかしい新春を迎え、消防団員各位並びに御家族の皆様にご挨拶申し上げます。新年のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、幸にして富士市では、火災、自然災害等ととりわけ大きな災害も無く、平穏な一年であったと思えます。これも団員各位の日頃からの献身的な御協力と御活躍によるものと、衷心より感謝申し上げます。

さて、近年消防環境は時代の推移と共に、厳しい現実を迎えようとしています。特に団員の高齢化、サラリーマン団員の増加等、全国的課題であると共に、富士市においても重

要視されることであり、早期対策を講じなければならない問題であると思えます。我々消防団は、これらの実態を充分認識し、活性化総合計画の具現化に向け、団員一同が結束し、消防団環境の整備に取り組んで行きたいと思えます。どうか団員各位には、自らの手で消防団を運営するという、新たな感覚で御協力を賜わります様、お願い致します。

幹部研修参加

副団長 川口 包 雄

私が団幹部特別研修に参加したのは、丁度二年前でした。場所は東京の日消会館で、各県代表四十七名のうちの一人として五日間の研修に参加し、そこで感じたことを簡単に

が申し上げます。まず、笹川会長であります。研修辞令交付式に出席され、態度、言葉ともにきびきびとして、相手に良い印象を与えることが出来、見習う必

要があると思えました。私としては会長を手本として、団幹部にふさわしい言動で富士市消防団が、更なる発展をする上で、出来る限りの努力をしなければ……と、思いました。研修では、活性化対策が盛り込まれており、参加者と意見交換をいたしました。富士市としては前消防団長時の平成元年度に、活性化総合計画書が作成されており、全国的に見ても先端を行っていると思っております。計画対応の遅れている都

市がある中で、富士市としては計画書に基づき実行してまいりたいと思っております。また、互助年金の加入促進についても研修科目とされ、静岡県は加入件数で全国第二位、県下において富士市は第二位にランクされています。この年金は、日本船舶振興会からの助成で運営されており、団員の為の有利な年金でもあり、今後も加入促進を図ってまいりたいと思っております。

市内消防施設図



教育訓練

第三方面隊長 吉村 愛三

訓練と言う言葉を聞いただけで、団員であれば皆が「大変だなあ」と思うはずである。

昭和六十二年七月の事であるが、消防大学の団長科に派遣され、十五日間の研修を受けて来ました。全国から集まった五十名の内の一人として、講義やら野外訓練が始まりました。

訓練では、一隊員として動かなければならず、当時としても私には、きつい体験でありました。その間、寝食を共にした仲間達と情報交換を

して感じた事ですが、富士市が我が消防団に対し、機械器具及び施設、更に団員処遇等は、全国でも上位にあると実感しました。

恵まれた環境を生かす様、訓練等に励んでほしいと思います。

先に述べた様に、訓練はつらく、楽をすることは出来ません。しかし訓練を行なう事により、自らの事故等を0に近づけ、地域住民の安全を守って行くのが、我々団員の使命であります。皆で頑張りましょう。

活性化への道

第二十二分団 副分団長 後藤 和紀

消防団の活性化が叫ばれて四年が経った。当分団も活性化の為に色々の施策を進めて来ました。幽霊団員を在籍させない、常に若い血の導入を行う、地域との連携強化等……。

活性化とは、行事や集まりの機会を増やす形だけのものでは達成出来ない。各団員が自信を持ち、納得のいく活動が不可欠である。

当分団は独自で実践的な放水訓練、水利調査等、消防団の真の目的に沿った活動、訓練を行なって来たし、今後も続けて行くつもりです。

活性化の最重要課題は、新規団員の発掘である。新人確保は、各分団

とも悩みの種と思うが、不十分な状態が続けば分団がやがては団が崩壊することになる。

幹部を含め全員が真剣に取り組まなければならないし、人員確保だけでなく、色々な面でも前進しないことでは、消防団の衰滅につながるはずである。

分団として、団として、各個人はどうあるべきか、どう行動すべきかを常に念頭に置きたいものである。各人の役職が上げれば上がる程、自己の考え、行動を律しなくてはならない。皆さん、明日の富士市消防団を指し、前進しましょう。



第八分団詰所

平成四年三月十五日、待望久しかった第八分団の詰所落成式と新消防車披露式が、同時に執り行なわれました。

市・消防本部をはじめ、関係者各位の多大な御尽力と御協力に対し、厚く御礼申し上げます。あれから半年、九月の或る日の雑感を一筆！

十年後の消防団

第七分団 班長 林 利昭

十年後の消防団を想像する時、逆に十年前と現在とを比較して見たらどうだろう。

我が第七分団に関して言えば、火災の出動回数が減ったこと、その中でも特に、実際に放水しての消火活動は年々少なくなっていることが上げられる。

今後、人口が少なくなり、火災は

詰所にも…欲しいですね。詰所の使用は各団であり、団員となります。このため、設計する前に団員の意向を聞き、予算内での対応を図るべきだと思います。新詰所では、靴入れの高さ不足、玄関庇の雨漏りには閉口しているところがあります。行政視察では話だけでなく、詰所や装備の見聞も必要と思いました。

◆火事は一一九番◆

来たが、これからも更に増えて行くことだろう。特に、地元の仕事等に積極的に出て、地域住民との交流が求められるだろうし、必要なことだと思ふ。

また、現在我が分団が抱えている最大の悩みに、新入団員の不足が挙げられる。これは、他の分団も同じではないだろうか。この問題は、増々深刻になって来ている。年令、期間に拘らないで、なるべく大勢の人に消防を経験してもらおう体験入団のようなことも、一つの手段として考えたらどうであろうか。

◆救急も一一九番◆

絶好のゴルフ日和となり、一ラウンド半という長丁場でありましたが、全員、日頃の仕事や団活動の疲れも見せず、元気一杯で楽しいプレーを行なうことが出来ました。

この行事は、第六方面隊の活性化を目ざし、交流の輪を広げる為に行なわれ、今回で七回を数えています。

親睦の輪

第二十一分団 団員 井出 眞

第六方面隊の親睦ゴルフ大会が、去る七月十四日、富士川町にあるり

ハイ富士カントリークラブで行なわれました。当日は、くもり、微風で

新詰所について

第八分団 分団長 吉村 孝夫

回を重ねる度に参加者も増え、今日コースに出るのが初めてと言う初心者も、ベテランと廻ったりしてゴルフの楽しさを味わうことが出来ました。

とかく、他分団員と話す機会も無く、こうした趣味によるものであつ

随想!!

団本部 指導員 渡井公平

近年、富士市では、特に大きな災害も無く、火災事象も僅か乍ら減少傾向を示し、各分団の火災出動件数も同様に少なくなつて来ており好ましい現状である。

しかし、一旦大きな事故が発生したならば組織的に活動が出来る消防団の人的支援は、災害活動上欠くことが出来ないものであり、その役割も極めて重要視されていることは衆知のところである。

自衛隊或いは、警察の機動力に依存する部分もあるかも知れないが、初動対応として常備消防はもとより消防団活動に期待されるところは計り知れないものがあると信じている。この有事に備え、消防団員は自らを練磨するため厳しい訓練を重ねており、各種訓練大会前は長期間に渡り、主として夜間訓練を実施し、団員と指導員は一致団結して、優勝という目標に向かって努力しているところである。

今日、消防団環境は全国的にも厳しい状況にあり、特に若年消防団員自らの手で解決策を見極めることが重要な課題ではないだろうか。そして、何時如何なる災害に対し

でも、楽しく交流することも必要ではないかと思ひます。今回のコンペには、指導員、本部員等にも声を掛け、中広い親睦大会にしたいと思つております。なお、二十一分団の岡崎さん……今回の優勝おめでとうございました。

ても適確に対応出来る消防団の組織づくりと、団員個々の資質の向上を図り、地域住民の信頼と負託に忠えて行かねばならないと痛感するところである。

今、我々消防団員に要求されるものは、消防団の運営は自分達一人ひとりの双肩にあるという強い意識ではないだろうか。決して、一部の団員によつて運営されるものではないと思ふ。

富士市消防団の活性化!!、この問題が提起され、相当の時間が経過したが、新しい時代に向つて団員個々が自分の立場を充分認識し、相互の理解を深めて行きたいと願ふ。



団員補充について

中丸浜区 相談役 渡井公平

日夜を問わず、地域住民の生命財産の安全確保のため活動を続けておられる団員の皆様に、心から敬意を表すると共に、私が経験した団員補充に奔走した時を顧みて見たいと思ひます。

私が区長の時(平成元年)に、消防団長であつた外山義一氏から「団員を補充したいが、なり手がなく困っている。区としても何等かの方法を取つて、真剣に取り組んでほしい。」との要請がしばしば出されました。

そこで、その対応として毎月行なわれる班長会に団の実情を説明して各班内に適任者が居た時は、知らせしてほしい。そうすれば、区長と団員数名に同行を願つて、入団依頼をしたい旨を伝え、班長の皆様をお願い致しました。

そのうちに、「あその〇〇君なら脈があるかも知れない」との情報は何件か聞かれるようになりました。早速、消防団員と同行して家庭訪問し、事情を色々説明していくと、「それでは入団しても良いが……でも、ちょっと考えさせて下さい。」と言う返事でした。後日、再訪問して見ると「入団する事は、出来ない。」全員から、申し合わせたような言葉が返つて来ました。どういふ理由かを尋ねたところ、「自分ひとりが入団するには、自信が持てない。連れが居れば、入団しても良い」とのことでした。そこで、「あの人を誘つてはどうか」と、こちらから候補

者を並らべて説得しましたが、結果は実らずじまいでありました。

そんな訳で、消防団には貢献出来なかつたが、現在の若者から受けた消防団観は、まず第一に魅力が無いこと、第二として平穏な生活環境の中から入団するには勇気が必要で、自ら飛び込んで行動したくない。

又、団活動が一般人に知られていないことも、大きな要因と思われまふ。従つて、これからは日常生活の中の消防団のPRを行ない、深刻な団員不足を訴えて、地域住民の皆様の協力を仰いで行かなければならないと、痛切に感じました。

私としては、今後とも微力ではありますが、消防団を応援して行きたいと思つております。

わかりますか? この写真!!



上の写真は、市内にある地下式消火栓です。この地下式消火栓の下部には、番号標示がなされていますが、どういう意味があるか、わかりますか。

まず、左側の番号から説明します。左側の番号は、一から二十一まであり、地区を表わしています。次に、ハイホンの右側数字については、その地区における消火栓の番号を表わしています。

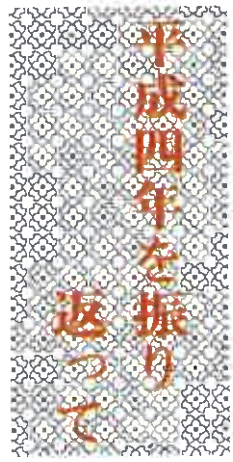
また、右端のアルファベットは、消火栓を設置した水道管の口径を表わしたものです。

地区名番号

地区名	地区番号	地区名	地区番号	地区名	地区番号
吉原	1	原田	8	富士駅南	15
伝法	2	吉永	9	田子浦	16
今泉	3	須津	10	富士南	17
神戸	4	浮島	11	岩松	18
広見	5	元吉原	12	鷹岡	19
大淵	6	富士駅北1	13	丘	20
富士見台	7	富士駅北2	14	天間	21

管口径記号

管口径	記号	管口径	記号	管口径	記号
150mm以上	A	100mm	B	75mm	C



ソフトボール大会

「第二十回富士市消防団ソフトボール大会」を七月十九日(日)に富士川緑地公園グラウンドで行ないました。結果は、第九分団が昨年の優勝チームである第四分団を下し、優勝しました。

なお、第九分団の優勝は通算三回となりました。

○決勝戦

第九分団(9)―第四分団(1)

○準決勝戦

第九分団(12)―第二十分団(1)
第四分団(8)―第八分団(7)

ポンプ車披露式

平成四年度整備計画で、購入した二台の新消防ポンプ車の披露式が、十月十七日にそれぞれ行なわれました。

第三分団においては、吉原五丁目齊藤斗志二事務所駐車場で、第十五分団においては、本市場・米之宮浅間神社で、市長をはじめ消防幹部の出席のもとで行なわれました。

車種はトヨタ・ダイナで、機装は日本機械工業株式会社となっています。購入総額としては、一台一千八十八万円で、乗車人員八名、総排気量三・六リットルの直接噴射ディーゼルエンジンを搭載しています。



第三分団披露式

(団長)



第十五分団披露式

(市長)

市訓練大会

「平成四年度富士市消防団訓練礼式並びに消防操法訓練大会」が十月四日(日)公設地方卸売市場駐車場において、盛大に行なわれました。

審査の結果は、次の通りです。

○訓練礼式の部

優勝 第三方面隊

○小型ポンプ操法の部

優勝 第二十三分団

準優勝 第二分団

第三位 第七分団

○ポンプ車操法の部

優勝 第七分団

準優勝 第八分団

第三位 第十四分団

以上に決定しました。

特に、ポンプ車操法の部で優勝した第七分団は、本大会で十連覇の偉業を成し遂げました。

来年の支部及び県大会に向けて、本大会優勝団体には、格段の活躍を期待します。

消防団の主要行事

本年は消防大会が富士市で開催され、県査閲大会、又、自治体消防四十五周年記念大会も開催され、行事が目白押しとなっています。

▽辞令交付式

四月一日

▽庶務・機関員・新入団員 救急研修

六月中旬

▽分団長行政視察研修

六月下旬

▽富士支部査閲大会

七月四日 富士宮市

▽静岡県消防団員査閲大会

八月下旬 静岡市

▽特別健康診断

八月下旬

▽総合防災訓練

九月一日

▽市訓練大会

十月三日

▽団本部行政視察研修

十月下旬

▽静岡県消防大会

十一月 富士市

▽秋季火災予防運動

十一月九日～十五日

▽消防まつり

十一月十四日

▽自治体消防四十五周年 記念大会

十一月十八日 東京ドーム

▽火災期特別警備

十二月二十日～

平成六年二月二十八日



原稿募集

消防団広報紙編集委員会
では次回の原稿を募集しています

○枚数 四百字詰原稿用紙一枚程度
○問合せ (消防団広報紙編集委員会)
○又、消防本部管理課
○締切り 八月末日

おもしろ雑学

体温はどこまであがる？

体温を表わす言葉に「火のように熱い」と良く言いますが、どんなに高熱でも、せいぜい四十度位で、四十一度以上になったら、昏睡状態になる。もし、それ以上に悪化して、四十二度を越したら死んでしまう。なぜならば、四十二度は人の体を構成しているタンパク質が、ゆで卵のように固ってしまう温度だからです。

また、熱が高くなった時の症状で尿が茶色になることがあります。これは、タンパク質の分解により色素が多くなるためです。

団員募集

今、若い人の力を消防団は求めています。

消防団に入団するには、地域の消防団員または町内会長、区長さんに申し出て下さい。